

フリー・ミーティング

スクエア

ご利用マニュアル

JAFBIC

一般社団法人 日本食品・バイオ知的財産権センター

目次

目次

フリー・ミーティング・スクエア創設の趣旨と経緯	1
ご利用手順概要図	2
ご利用手順の具体的説明	3

フリー・ミーティング・スクエア創設の趣旨と経緯について

フリー・ミーティング・スクエア創設の趣旨と経緯について

かつて、当センターの規模が極めて小さかった頃には、会員同士の接触が濃密で、ちょっとした相談事とか悩み事や考えを誰かに相談すると、そういうことならとすぐに何人かの仲間に声をかけて、皆で相談に乗ってくれたり、議論に発展したりという交流の場がタイムリーに、かつフレキシブルな形で形成されていました。

しかし、当センターの会員が増え、委員会活動に参加してくださる方々の数も昔に比べて劇的に増えた現在、なかなかこういったフレキシブルな形での交流の場をタイムリーに設けることが困難な状況にあると思われまます。

そのような中で、現在も関西委員会においては、有機的な交流の拡がりを維持されているとお聞きし、また、昨年は、『職務発明』の問題について、何人かの有志の方々が自主的な意見・情報の交換の場を持たれたということをお聞きしました。

そこで、当センターとして、会員のみなさまがもっと気軽に意見交換、情報交換、あるいは悩み相談の場を持つことはできないか？と考え、事務局にこの問題をシステム化することをお願いしました。そして、生まれたのが、ここでご紹介する『フリー・ミーティング・スクエア』です。

このシステムが、みなさまのお役に立つことを願っております。

また、システムを設計してくれた事務局にお礼をするとともに、これからもより会員のみなさまへのサービス向上に腐心を欠かさぬよう、お願いする次第です。

平成28年6月

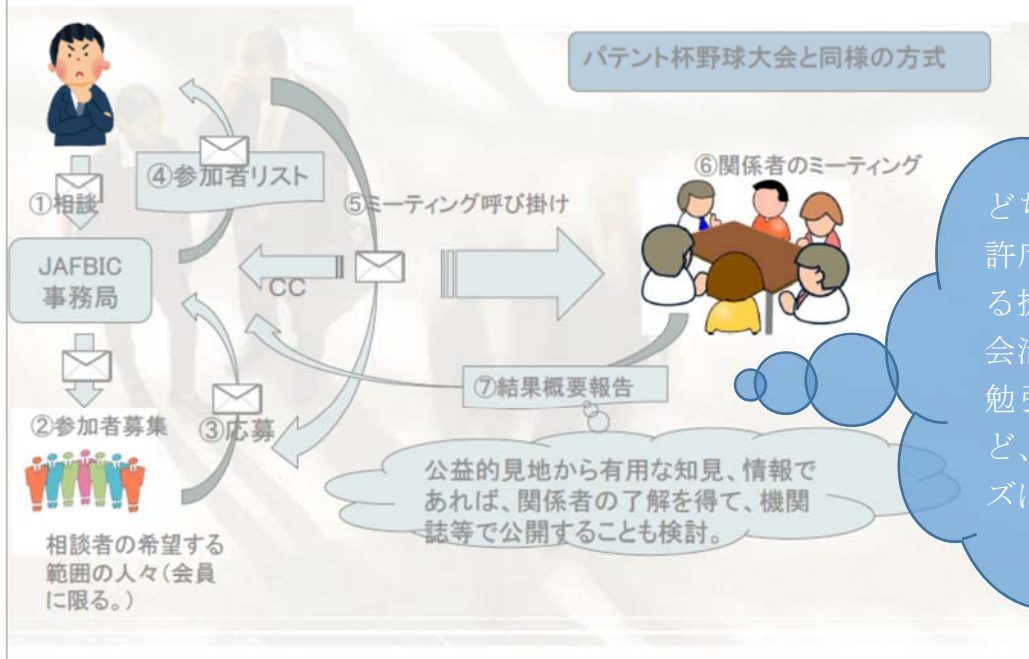
代表理事・理事長 照井 正三郎

ご利用手順概要図

ご利用手順概要図

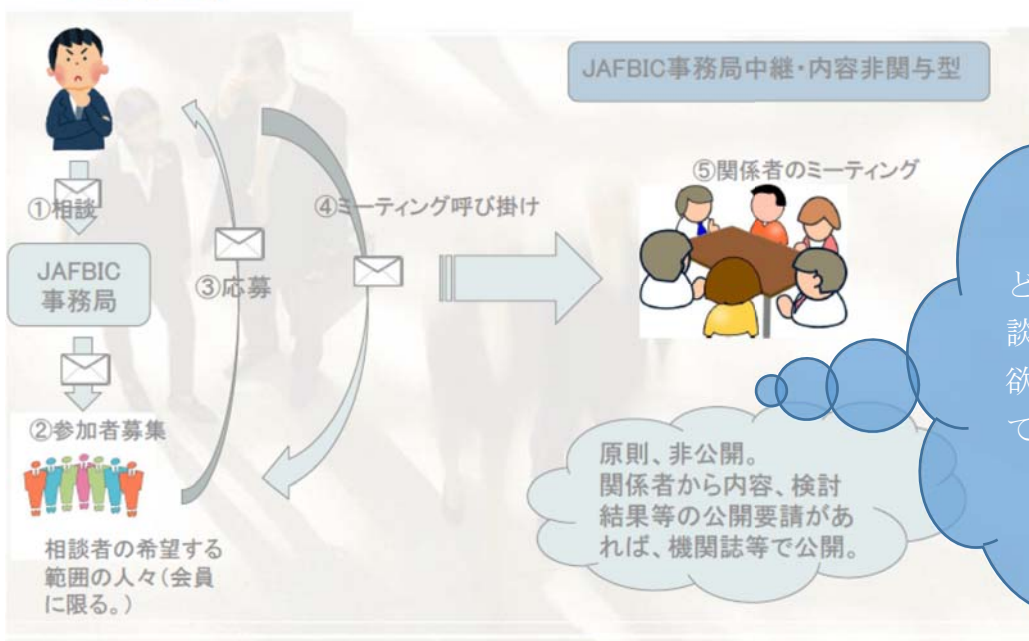
以下のA方式・B方式のいずれかの方式を選択していただけます。

A方式



どちらかという、特許庁や JAFBIC に対する提言や、従来の委員会活動の枠では難しい勉強会の立ち上げなど、なかば公式なニーズに向いています

B方式



どちらかという、相談事、悩み事に助言が欲しいときなどに向いています

ご利用手順の具体的説明

ご利用手順の具体的説明

A方式		B方式	
①	JAFBIC 事務局にメール (info@jafbic.jp) にて相談依頼。 その際、以下のことを指定する。 ・ A方式であること ・ 希望する相談相手（会員に限る。）の範囲	①	JAFBIC 事務局にメール (info@jafbic.jp) にて相談依頼。 その際、以下のことを指定する。 ・ B方式であること ・ 希望する相談相手（会員に限る。）の範囲
②	JAFBIC 事務局は、相談者と打ち合わせして、相談相手の範囲について相談者の同意を得た範囲で相談者からの相談内容の概略を記して参加者をメールで募集する。	②	JAFBIC 事務局は、相談者と打ち合わせして、相談相手の範囲について相談者の同意を得た範囲で相談者からの相談内容の概略を記して参加者をメールで募集する。
③	参加希望者は、JAFBIC 事務局にメール (info@jafbic.jp) で、参加表明をする。	③	参加希望者は、相談者に対して、直接、参加表明のメールを送信する。
④	JAFBIC 事務局は、参加表明者の連絡先リストを作成し、相談者にメールにて送付する。	-	-
⑤	相談者は、④の参加表明者の連絡先リストに記載されたメンバー全員に、ミーティングの呼び掛けメールを送信する（その際、CCをJAFBIC事務局に送る）。	④	相談者は、参加表明のメールを送信した相手方にミーティングの呼び掛けメールを送信する（その際、JAFBIC事務局へのCC送信は不要）。
⑥	相談者と参加表明者との間で、日程調整をしたうえで関係者によるミーティングを開催する。	⑤	相談者と参加表明者との間で、日程調整をしたうえで関係者によるミーティングを開催する。
⑦	相談者は、関係者のミーティングで得られた結果の概要をJAFBIC事務局に報告する。	-	-
※	⑦の結果報告の内容により、事務局担当理事が公益的見地からみて、有用な知見、情報であると判断した場合には、関係者の了解を得て、機関誌等にその内容を公開する場合もある。	※	ミーティングに参加したメンバーに関する情報や、議論の内容及び結論は、原則非公開。ただし、関係者からJAFBIC事務局に検討結果等の公開要請があれば、機関誌等で公開する場合もある。